

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ふたば		
○保護者評価実施期間	令和 7年 3月 12日		令和 7年 3月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 13人
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 26日		令和 7年 3月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペース、生活空間は常に清潔が保たれており、気持の良い環境となっている。	毎日の清掃に加え、遊具等こまめに消毒をしている。 子ども達の様子に応じて、静養室や事務所で過ごせる環境を整えている。	引き続き、子ども達が安心して楽しく過ごせるよう心地良い環境整備に取り組んでいく。
2	子ども達の特性を理解し、一人ひとりに合った支援を提供している。	お子様の発達や特性を理解した上で専門的な分析が行えるよう定期研修を行い、社員教育の機会を設けている。毎日の振り返りをする事で子ども達の様子を共有している。	引き続き、お子様を理解し適切な支援を提供できるよう職員の学びを継続していく。
3	保護者の方にお話を窺い、子どもの様子を見ながら必要な課題を見つけ個別支援計画書を作成している。	個別支援計画書を作成する際は、現場での様子も聞きながら見方に偏りが出ないように工夫している。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会。	下校後の限られた時間で事業所のプログラム以外への取り組みが難しかった。学休日は外へ行く事が多く、他の子ども達との交流はあるものの、一緒に活動するまでには至らなかった。	地域で行っているイベントや教室等にも参加できるよう情報収集しながら、いろいろな人と交流する機会を増やせるよう計画を立てる。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援の充実。また、きょうだい向けのイベントの開催によりきょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援の充実。	・参加しやすい日程調整が難しく、計画できなかった。 ・きょうだい児支援に関してはニーズの把握が十分にできていない。	参加しやすい日程を調整し、実施できるよう検討する。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会。	家族支援として、モニタリング時や送迎時に職員が学んだスキルをお伝えする事はあるが、実際に保護者を対象とした研修会等は実施できていない。	家族も参加できる研修会などの情報収集を行い、日程を調整しながら学べる場を設けられるようにしていく。